

日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2017年2月上旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 総務委員会について

2月16日（木）10時00分より財団の会議室において、総務委員会が開催されました。「日本救急医療財団創立25周年記念誌」の最終確認が行われ、英語表記の追加がされました。送付先については役員・評議員に70部送付、委員会関係及び関係団体に235部送付、財団職員に10部配布、余剰部数185部（財団保管）の計500部を作成することが確認された。

また、送付後の依頼については、財団保管分に対応することが確認された。

2. 常任役員会開催について

3月6日（月）14時00分より財団会議室において、常任役員会が開催されました。議題は、①平成28年度収支予算書（変更案）、②平成29年度事業計画及び収支予算書（案）、③評議員の選任、④役員を選任、⑤第11回評議員会開催に係る決議及び報告事項について審議されました。

評議員の小林國男帝京大学大学院健康科学研究科長は平成28年12月22日に死去されたと報告があり、評議員会において黙祷によりご冥福をお祈りすることとした。

3. 第10回理事会開催について

3月13日（月）14時10分より東京ガーデンパレスにおいて理事会が開催されました。議長には、定款第37条により島崎修次理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により濱精孝、野井俊聡両監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 平成28年度収支予算書（変更案）について
- (2) 平成29年度事業計画及び収支予算書（案）について
- (3) 第11回評議員会開催に係る決議について

<報告事項>

- (1) 評議員の選任（予定）について
- (2) 役員を選任（予定）について

- (3) 任期満了に伴う次期役員の再任依頼について
- (4) 理事長、副理事長、常務理事の選定について
- (5) 第11回理事会及び第12回臨時理事会の招集について
- (6) 第40回救急救命士国家試験の応募状況について
- (7) 心肺蘇生法委員会について
- (8) 総務委員会について
 - ・日本救急医療財団25周年記念誌の発行について
- (9) 平成28年度病院前医療体制充実強化事業について
- (10) 財団ホームページの改修について

小林國男評議員が、平成28年12月22日に死去されたことが報告され、理事会においてご冥福をお祈りした。

平成28年度収支予算書（変更案）、平成29年度事業計画及び収支予算（案）、第11回評議員会開催（平成29年6月16日（金）、13:00～14:30、於東京ガーデンパレス）の決議がされました。

また、報告事項として、評議員の選任（予定）、役員の選任（予定）、任期満了に伴う次期役員の再任依頼、理事長・副理事長・常務理事の選定、第11回理事会及び第12回臨時理事会の招集、第40回救急救命士国家試験の応募状況、心肺蘇生法委員会、総務委員会（日本救急医療財団25周年記念誌の発行）、平成28年度病院前医療体制充実強化事業、財団ホームページの改修について報告があり、了承されました。

4. 第10回評議員会開催について

3月13日（月）16時00分より東京ガーデンパレスにおいて評議員会が開催されました。議長には、定款第20条により森岡恭彦評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により松田周三評議員と山本保博評議員が選出されました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 評議員の選任について
- (2) 役員の選任について

<報告事項>

- (1) 平成28年度収支予算書（変更案）について
- (2) 平成29年度事業計画及び収支予算書（案）について
- (3) 第11回評議員会開催に係る決議について
- (4) 任期満了に伴う次期役員の再任依頼について
- (5) 理事長、副理事長、常務理事の選定について
- (6) 第40回救急救命士国家試験の応募状況について
- (7) 心肺蘇生法委員会について
- (8) 総務委員会について
 - ・日本救急医療財団25周年記念誌の発行について

(9) 平成28年度病院前医療体制充実強化事業について

(10) 財団ホームページの改修について

評議員の小林國男帝京平成大学大学院健康科学研究科長は平成28年12月22日に死去されたと報告があり、黙祷によりご冥福をお祈りした。

また、評議員は27名となるが、定款第14条の25名以上35名以内の範囲内であり後任の選任は行わず、後補充をしないことを決議した。

株式会社へるす出版取締役の長谷川潤評議員が辞任し、代表取締役社長の佐藤枢氏が評議員に就任することを決議した。

前日本医師会常任理事の石井正三理事、及び前日本製薬団体連合会常務理事の野瀬耕二理事が辞任し、日本医師会常任理事の松本吉郎氏、及び日本製薬団体連合会常務理事の高田義博氏の就任が決議された。

報告事項として、平成28年度収支予算書(変更案)、平成29年度事業計画及び収支予算書(案)、第11回評議員会開催に係る決議、任期満了に伴う次期役員の再任依頼、理事長・副理事長・常務理事の選定、第40回救急救命士国家試験の応募状況、心肺蘇生法委員会、総務委員会(日本救急医療財団25周年記念誌の発行)、平成28年度病院前医療体制充実強化事業、財団ホームページの改修について報告があり、了承された。

5. 救急救命処置検討委員会について

2月21日(火)10時00分より東京ガーデンパレスにおいて救急救命処置検討委員会が開催されました。

行岡委員長より「病院前医療体制充実強化事業」の説明があり、会議次第に沿って進められた。平成28年度病院前医療体制充実強化事業計画書、救急救命士が行う救急救命処置に関する検討や議論の経緯、平成28年度病院前医療体制充実強化事業のこれからの進め方(救急救命処置の追加・除外等の基本的な手順・流れ(概要)、窓口・評価・振り分け業務を開始する上での課題・論点、救急救命処置の追加、除外等に関する提案書の記入項目)、救急救命処置検討委員会検討部会の設置について説明があり、審議した。

救急救命処置検討委員会検討部会の設置、規程(案)が了承された。

「救急救命処置の追加、除外等に関する提案書の記入項目(案)」について、会議の議論内容に沿って再度委員より意見を伺った後、会議の成果として「救急救命処置の追加、除外等に関する提案書の記入項目(案)」を厚生労働省に報告することとした。

研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

1. 研修教育事業委員会について

平成29年2月23日(木)に、東京ガーデンパレスにおいて、今年度第2回目の研修教育事業委員会を開催しました。

平成28年度研修教育事業実施報告等について審議されました。

2. 非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会について

平成29年3月23日(木)に、東京ガーデンパレスにおいて、非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会を開催され、「AED の教育普及に関する作業部会」の活動状況について報告された。

また、「設置登録情報の有効活用について(AED 設置登録情報等に関する小委員会報告書平成27年6月23日)の改訂について」、検討した内容が報告されました。

試験部門に関する報告

徳竹 伸重 試験免許部

1. 第40回救急救命士国家試験実施状況

3月12日(日)に全国5試験地(北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県)において実施しました。

受験申込者は3,081名で、そのうち3,031人が受験し、2,576人が合格しました。(合格率は85.0%)

合格者の発表は、3月31日(金)午後2時に厚生労働省において、受験地、受験番号を掲示して発表するとともに、当財団のホームページに合格者の受験地、受験番号及び国家試験における採点除外等の取扱いとした問題、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書(合格者には合格証書)を郵送しました。

合格者の救急救命士名簿登録は、各人の申請に基づき救急救命士免許証を交付することとなっております。